

横浜災害ボランティアネットワーク会議

令和元年度 第6回運営委員会について報告します。

日時	令和元年10月8日(火) 18:30~20:30
会場	横浜市健康福祉総合センター 8階 大会議室8AB
参加者	運営委員:13名 事務局:3名

代表あいさつ:

【臨時運営委員会】

【報告】台風15号における対応について

(1) 被災地への支援物資の提供支援について

資料1に基づいて事務局より説明。

本来は総会にはかるべきだったが、迅速な執行が必要だったため、特別会計管理および運営規定第4条第1項に基づき代表専決で執行した。すでに現地に土嚢袋は届いており、お礼のご連絡があり、好評とのこと。本件にかかる費用として半分を本会議で執行、残り半分を市社協より負担としたい。

(意見)

台風発生してから物資を送るまで少し期間があったため、運営委員や役員へ一報ご連絡いただいたうえで執行するべきだったのではないのか。

→ルール作りを来年に向けて整えていきたい。

(結果)

内容について了承いただいた。

(2) 各団体から

①金沢区災害ボランティアネットワーク

・マスコミに大きく取り上げられていなかったが、実際はかなりのような被害があった。9月14日から外部の方も入りボランティア活動をしている状況。

・区災ボラセンターを立ち上げるのかどうか、という議論もあったが、市外の方が「救う会」を発足し、ボランティアを募集し、現場で受付をして、活動をしている。金沢区としてもはじめてこのような活動となった。その後金沢区災ボラに活動を移譲され10月から金沢区災ボラとして活動することになった。今後三連休の活動は台風のおそれもあるため、実施するかどうかの判断基準を設けたいと思っている。台風が去ったあとの活動になるかもしれないが、被害状況を見て、活動をどうしていくか検討していきたい。

→金沢区災ボラとして活動をしていくため、本会議としても応援をしていく。(代表)

(意見)

- ・横浜市全区で被害が出ている状況だが、本会議としてボランティア団体等に被害状況を聞いて情報を収集するなど、呼びかけが出てよかったのではないかな。そのような動きをすることで、自分たちの訓練にもなる。災害の現場をみることは大事だと思っている。
- ・災ボラセンターが立ち上がらなくても、お互い助け合えるといいのでは。
- ・行政から要請される以外にも、災ボラセンターは必要に応じて立ち上げてもいいのではないかな。
- ・行政・災ボラ・社協の三者連携のなかで立ち上げたセンターと、有志で立ち上げたセンターでは、責任をどこがもつかが違う。三者連携のなかでは、行政が関わるので、外部との信用も違う。
- ・金沢での活動に対し、有志でやる、という決定過程もわからない。どこの機関でなされたのか。意思決定方法は？市災ボラとして討議されていない。提案されていない。
- ・災害時の本会議の動きとして、どういうふうに情報収集をしていくのかなど、全体で意思統一をしておいたほうがいいのでは。
- ・臨時の運営委員会を開いてもよかったのでは。そこで行動を確認する。
- ・瞬時に情報共有できる媒体がないのが原因では。共有する場が必要。それで集まるのか、集まらないという判断もできるのでは。
- ・災ボラセンターは立ち上がっていないが、各団体として金沢区を支援するのはいいのではないかな。
- ・金沢区でも物資足りていない。他には物資支援しているのに、なぜ金沢区に出さないのか。道具の支援、お金の支援などできないか。
- ・出すとしても置き場の問題にもなる。返してもらえばいいのでは。金沢区災ボラから必要なものを発信してもらおうのがいいのではないかな。
- ・本会議としてメーリングリストや facebook をつくり、情報交換をしてはどうか。組織として対応できることや、個人として支援できるものもあると思う。
- ・メーリングリストに被災状況をあげていけばどこに被害があるかも分かり、運営委員会として集まるべきなのかもわかってくるのではないかな。

(結果)

運営委員のメーリングリストを作成することとなった。

② 県災ボラ

- ・毎週土日で千葉へボランティアバスを出していた。現在は富津市しか外部ボランティアを入れていないが、単独で活動している人は直接入っているよう。現地の被害が大きく、活動はまだ続く。

③ 横浜市社協（職員応援派遣経過報告）

- ・千葉県南房総市の災ボラセンターに神奈川県として応援しており、本会も職員を派遣してい

る。現地の報告は運営委員会の場でさせていただく。

※終了時間となったため、以降の議題は次回の運営委員会に諮ることとなった。

《次回：令和元年 11 月 11 日（月） 18：30～》